

産学官連携強化のためのシンポジウム ーオランダの産学官連携の仕組みを参考にー

フードバレーという食の科学とビジネスに関する一大集積拠点を形成し、農産物の輸出額世界第2位を保持しているオランダの産学官連携システムを参考に、我が国における産学官連携強化のための方策について議論します。

日時：平成26年1月22日(水)
13:30～18:00

場所：つくば国際会議場・中ホール300

* 英語・日本語同時通訳あり

**参加費
無料**



Prof. Dr. Martin Kropff

特別講演

13:35～14:35

**オランダ・フードバレーにおける産学官連携による
農業・食品産業のイノベーションの創出**

ワーヘニンゲン大学学長・ワーヘニンゲンUR副議長

マーティン クロフ 博士

講演

14:35～16:50

1. 攻めの農林水産業において研究機関に期待すること
2. 農研機構における産学官連携の現状と今後のあり方
3. 大学における産学官連携の現状と今後のあり方
4. 民間企業が望む研究機関及び行政のあり方

農林水産省 農林水産技術会議事務局長 雨宮 宏司

農研機構 理事長 堀江 武

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授 宮崎 均

株式会社前川製作所 常務取締役 川村 邦明

パネルディスカッション ～我が国のアグリビジネス拡大に向けて～ 16:50～18:00

パネリスト 講演者5名および、茨城県農林水産部 次長 宮本 清一郎

コーディネーター 農研機構 理事 大谷 敏郎



つくばエクスプレス:つくば駅より徒歩10分

【主催】 農研機構

【後援】 農林水産省農林水産技術会議事務局、茨城県、つくば市、筑波大学、茨城大学、全国農業協同組合連合会、つくばサイエンス・アカデミー、常陽銀行、筑波銀行

【参加対象者】 どなたでもご参加いただけます。(事前申込みが必要です。)

【お申込み】 定員：200名(定員になり次第、受付を終了させていただきます。)

参加費：無料 ※ただし、レセプションは5,000円

(希望者のみ、18:30よりエスポワールにて)

申込方法：農研機構ホームページよりお申し込みください

<http://www.naro.afrc.go.jp/event/list/2013/12/049649.html>

【お問合せ先】 農研機構 連携普及企画室 TEL 029-838-7306



農研機構

